

政策名	<b>第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち</b>
施策名	<b>5 子育て支援の充実</b>

主担当課	子育て支援室(社会福祉課)
関係課	

**1. 施策の現状と課題**

わが国では、これまでの予想を上回る勢いで少子化が進み、すでに現在の人口を維持することができない状況となり、人口減少時代を迎えました。  
本市では、小学生以下の園児・児童数はここ数年横ばい傾向にありますが、今後は少子化が加速することも懸念されています。  
また、核家族化の進行や離婚の増加、女性の社会参画に伴う就労形態の多様化、コミュニティ意識の希薄化など、子ども・子育てを取り巻く環境が大きく変化する中で、子育てへの不安や負担感、仕事と育児の両立に対する負担感が増大する傾向もみられ、全市民的な視点に立った少子化対策、子育て支援が重要課題となっています。  
このような中、本市ではこれまで、延長保育の実施など多様化する保育ニーズに即した保育体制の充実、地域子育て支援センターの設置、児童館の整備、学童クラブの実施、児童相談の実施、ひとり親家庭への支援をはじめ、多様な子育て支援施策を積極的に推進してきました。  
また、子育てに不安を抱える保護者に対して、悩みを気軽に相談できる窓口を設置するとともに、よりきめ細やかで継続的なサービスを提供できるよう、関係課で連携した子育て支援体制作りに取り組んでいます。  
平成16年度に策定した『次世代育成支援地域行動計画』は、平成22年度から平成26年度までの5年間を後期計画として見直し、従来の取り組みに加え、さらなる施策の充実に努めているところです。  
今後とも、この計画に基づき、子育て家庭を市全体で支援していくという視点に立ち、関連部門・関係機関が一体となって、家庭や地域の機能を支えるための多面的な子育て支援施策を積極的に推進していく必要があります。

**2. 施策の基本方針**

少子化が進行する中、次代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成に向け、『次世代育成支援地域行動計画』に基づき、多面的な子育て支援施策を総合的、計画的に推進します。

**3. 施策の内容(主要施策名)**

(1)地域における子育て支援の充実	学童クラブの充実や地域子育て支援センターの機能強化、ファミリーサポートセンターとうおんの活用をはじめ、延長保育の充実や一時保育の実施など保育サービスの充実、幼保一元化や官民の枠を越えた子育て支援のネットワーク化の推進、児童館の整備、さらには子育て家庭に対する経済的支援の推進など、地域における多様な子育て支援の取り組みを進めます。
(2)子どもと母親の健康の確保・増進	母子の健康の確保・増進に向け、各種の健康診査や「こんにちは赤ちゃん」などの訪問指導、健康教育・相談の充実を図るとともに、小児医療体制の充実や不妊相談の充実に努めます。
(3)教育環境の整備	次世代の親の育成に向けた「食育」の推進や思春期保健対策の充実に努めるほか、生きる力を育てる学校教育環境等の整備、家庭や地域教育力の向上を目的とした学習機会の提供、環境教育の推進、子どもの人権尊重に関する啓発など、子どもの心身の健やかな成長に向けた教育環境の整備を進めます。
(4)子育てを支援する生活環境の整備	子育て世帯に配慮した公営住宅の整備や安全な道路交通環境の整備を推進するほか、関係機関・団体や企業、地域住民がそれぞれの役割分担を明確にし、子育てを支援する生活環境の整備を進めます。
(5)職業生活と家庭生活との両立の支援	仕事と子育ての両立に関する情報を広報・啓発し、職業生活と家庭生活の両立を支援していきます。
(6)子どもの安全確保	関連部門、関係機関・団体が一体となって、子どもを事故や犯罪等の被害から守るための活動を推進するとともに、被害にあった子どもに対する支援を推進します。
(7)ひとり親家庭の支援	年々増加する母子・父子家庭等のひとり親家庭に対する自立・就業支援や経済的支援の充実を図るなど、援助を必要とする子どもと家庭に対するきめ細かな取り組みを推進します。
(8)要保護児童等への支援	児童虐待をはじめとする要保護児童の早期発見に努めるとともに、対象児童や家庭に対する適切な相談・指導を行うため、教育・医療・福祉等関係する機関の連携強化に努めます。また、被害にあった子どもの人権に配慮しながら、適切な支援を推進します。

**4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度**

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
			目標値	実績値	目標値	
延長保育実施保育所数 [延長保育を実施している保育所数]	箇所	目標値	4	4	4	中間目標値を達成しています。 (双葉、南吉井、南吉井第2、川内で延長保育を実施しています。)
		実績値	4	4	—	
保育所への入所を待っている児童の数 [待機児童の数]	人	目標値	0	0	0	中間目標値を達成しています。 今後も、入所希望者の増加が見込まれますが、受入体制、保育所整備の検討を行い、待機児童がでないよう努めます。
		実績値	0	0	—	
子育て支援センター利用者数 [年間の子育て支援センターの利用者数]	人	目標値	3,000	4,000	5,000	広く周知、広報活動することで増加傾向にあり、中間目標値を大きく上回っています。 今後も、更なるサービスの維持向上で内容の充実を図り利用者の増員に努めます。
		実績値	3,000	5,894	—	
児童館利用者数 [年間の児童館の利用者数]	人	目標値	21,842	39,000	40,000	中間目標値を達成しています。 引き続きイベント数も増やし、利用者の増加を図ります。
		実績値	21,842	40,286	—	

**5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)**

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
平成21年度に子育て支援室が設置され、乳幼児、母子父子家庭医療費助成事業も含んだ子育て支援の総合窓口として取り組んでいます。 核家族化や離婚の増加等、子どもを育てる環境は個人の負担を増大させ、ますます子育て支援が必要となっています。 今後は、育児不安等による相談業務の増加が見込まれ、職員の専門性が問われるため、各関係機関との連携を強化していきます。子ども手当、児童扶養手当の父子拡充等国の施策による子育て支援も実施します。	子育てに関する相談件数も増加傾向にあるため、総合的な子育て支援体制の相談事務の充実を図ってください。	働く親が安心して仕事に就ける体制作りが必要で、市民ニーズの高い施策です。 人口減少など社会情勢の変化を見据えながら環境整備を推進してください。

## 6. 施策実現のための事務事業評価結果

番号		事務事業名	事業費(直接+人件費)千円		課名	総合評価		今後の方向性	
課	事務事業		平成22年度	平成23年度		一次	二次	一次	二次
007	1001	放課後児童指導事業(学童クラブ)	35,898	42,008	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	1002	母子自立支援事業	4,231	2,551	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	1003	地域子育て支援センター運営事業	32,777	34,485	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	1004	こんにちは赤ちゃん事業 (養育支援訪問事業含む)	2,763	4,313	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	1006	ファミリーサポートセンターとうおん運営事業	5,330	4,311	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	1007	児童館管理運営業務	23,222	23,589	子育て支援室	B	A	拡大・充実	現状維持
007	1009	保育所改修事業	50,774	32,985	子育て支援室	A	A	拡大・充実	拡大・充実
007	2001	川内保育園運営管理業務	182,565	161,952	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	3001	双葉保育所運営管理業務	180,863	178,416	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	4001	南吉井保育所運営管理業務	128,267	148,848	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	5001	南吉井第二保育所運営管理業務	151,902	150,528	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
007	6001	拝志保育所運営管理業務	78,614	109,368	子育て支援室	A	A	拡大・充実	拡大・充実
007	7001	上林保育所運営管理業務	10,091	10,752	子育て支援室	A	A	拡大・充実	現状維持
合計			887,297	904,106					